



Brush up Program
for professional

「職業実践力育成プログラム」(BP)の概要

職業実践力育成プログラムとは、プログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムとして文部科学大臣が認定するものです。

本研究科の博士前期課程 高度実践コースは文部科学省から「職業実践力育成プログラム」(BP)に認定されました。

(令和2年4月認定)

- 療養生活支援看護学 がん看護学、慢性看護学、精神看護学、老年看護学
- 地域家族支援看護学 母性看護学、小児看護学

(令和3年4月認定)

- 地域家族支援看護学 プライマリケア看護学

高度実践コースでは、豊かな学識と国際感覚をもち、看護学の深奥を窮めることができる自立した高度実践看護専門職者を育成することを目的とした2年間の教育課程です。高度実践看護専門職として良質な看護を行うに必要な高度な看護実践能力を培うため、討論力、課題解決能力、指導力を高め、学識・社会性のある知的素養の涵養を図り、専門看護師(CNS)・ナースプラクティショナー(NP)に求められる「卓越した実践能力」「教育能力」「コンサルテーション能力」「コーディネーション能力」「研究能力」「高邁な倫理観」の6つの能力を有する人材を養成します。

- > 共通科目・・・CNS・NPに必要な基礎的知識の習得、看護職を取り巻く社会情勢や看護実践管理上の課題を学び、医学的な基礎知識を習得する
- > 専門科目・・・専門的知識を学修し、実習では臨床で患者の看護を実施し実践技術を修得すると共に、CNS・NPに必要な高度な実践・相談・調整・倫理調整・教育能力を実地で修得する
- > 課題研究・・・研究計画書立案・調査を行い課題研究論文としてまとめることにより、CNS・NPに必要な研究能力を習得する

社会人が受講しやすい工夫

長期履修制度、夜間・週末の開講、集中講義、他大学院等における既修得単位の認定

身に付けられる知識、技術、技能

CNS・NPに必要とされる高度看護実践、教育、相談、調整、研究、倫理の実践に必要な知識、技術、技能

修了時に付与される学位・資格等

令和2年4月認定：修士(看護学)、専門看護師(CNS)受験資格

令和3年4月認定：修士(看護学)、ナースプラクティショナー(NP)受験資格

問い合わせ先

大阪医科薬科大学 学務部大学院課

TEL : 072-683-1221 (代表) 内線 : 2160

MAIL : ompu-gs@ompu.ac.jp